



就労移行支援事業所
世一緒 voisyo

だい よいしょ まど
せんげん台「世一緒」の窓

かれん はな
リュウノヒゲの可憐な花

だい よいしょ たかせいさむ
せんげん台「世一緒」 高瀬 勇

おかだのうえんぼうけんき はたけ い そら あお だいち た
またまた岡田農園冒険記だ。畑に行くといつも空を仰いで大地に立つ
という爽快な解放感を味わえる。

こんかい ぎゅうふん ま くさと ど て しゃめん ぐんせい
今回は牛糞撒きと草取り。土手の斜面にリュウノヒゲが群生している
のだが、その中に生えている雑草を抜くのだ。

ぎゅうふん ま たね ま おな しせい
牛糞撒きは、まるでフランソワ・ミレーの「種蒔く人」と同じ姿勢になる
ので、ついそれを思い浮かべて悦に入る私だった。どちらも腰を曲げ
てやる作業なので、痛みがじわじわ食い込んでキツイったらありやしない。
でも楽しいのだ。

おかだ ひりょう す よなか
岡田さんによると、肥料をやり過ぎるとネキリムシが夜中にやってきて
根こそぎ食べつくしてしまうらしい。虫と共存するのは大変だ。

くさと はな み ほうせき
さて草取りのさなかにリュウノヒゲの花を見つけた。宝石のような
濃紫の実はいくども見ているが（と言っても実は草むらをお押し分けて探
さなければ見つからない。よく見つかるのは冬の季節だ）、花は初めてだ
った。

かんどう はな くれん うすむらさき さっそく しゃしん と
感動した。花は可憐な薄紫だった。早速スマホで写真に撮った。
なつめそうせき はいく おも だ そうせき くのう ひと くれ
夏目漱石の俳句を思い出した。漱石は苦悩の人だった。その彼がこんな
句を作っていたのだ。なぜか分からないが胸にじんとくる。泣きたくなる。

すみれほど ちい ひと う
堇程の小さき人に生まれたし

すみれ くれん むらさき はな ねんねん がつ にち すい
堇も可憐な紫の花である。 2109年6月26日（水）